

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	06430001
授業科目名(Course name)	ピアニストのための脱力法		
担当者(Instructors)	馬場 マサヨ		
開設学部学科(Department)	文学部 音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	262
開講クラス(Class)	音 2 ピ	開講形態 (Course format)	演習
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 木曜 3 限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	
他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)			

■授業の概要(Course outline)
ピアノを演奏する際に、不必要な力が入りすぎていることを自覚していても、なかなか改善出来ず、演奏技術が伸び悩んでいるケースが非常に多い。この授業では、それをいかに克服するかを探究する。人体の骨格模型を使い、自分の骨の動きと比較しながら正しい姿勢の作り方、正しい腕や手首の使い方を知る。また、日本人と西洋人の動きの違いを認識することが演奏技術の向上につながることを学ぶ。自然な肩の動きとはどんな動きなのか、正しい姿勢とはどんな姿勢なのかを学び、ピアノ演奏に応用する。指の使い方についても模型等を使い、合理的な打鍵方法とは何かを考える。

■到達目標(Course goals)
ピアノ演奏における技術的問題の解決法を、身体の使い方に焦点をあてて探究することにより、合理的なピアノ演奏テクニックを修得している。

■履修上の留意点(Important points)
なし

■学位授与方針 (Diploma policy)
1. 知識・理解 音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎
2. 汎用的技能 音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。 ◎

■授業計画(Lesson plan)
1. 各自の演奏法の問題点
2. 手が痛くなる理由を知る。
3. アレクサンダーテクニック、フェルデンクライス、野口体操などのメソッドについてその考え方と実践
4. 日本人と西洋人の身体の使い方の違いを知る
5. スケルトン（人体骨格模型）を使って肩、腕の構造を知る。
6. 30センチの棒を使い、前腕と上腕の関節と動きを知る。
7. 正しい姿勢と立ち方、歩き方を学ぶ。
8. ピアノを弾く姿勢について、正しい姿勢とは？

9. 巨大指模型を使って、指の合理的な使い方を知る。
10. 各自問題点を見つける
11. 各自問題点の解決法を探る
12. ピアノを操るその1「連打とトリル」「ペダル」
13. ピアノを操るその2「バランスの取り方」
14. 各自の取り組む楽曲で実践
15. 各自演奏の発表

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
授業で学んだことを必ず自宅での練習で復習すること。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
次の週の授業で行う

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
「目からウロコのピアノ奏法」「目からウロコのピアノ脱力法」

■評価方法(Evaluation method)
演奏発表 50%
レポート 50%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
授業後に対応